



玉造順一 市政レポート

ブリュッケ

ブリュッケとは、ドイツ語で「橋」。玉造順一は、市政と市民の架け橋となって、市民の声が反映される市政の実現をめざします。



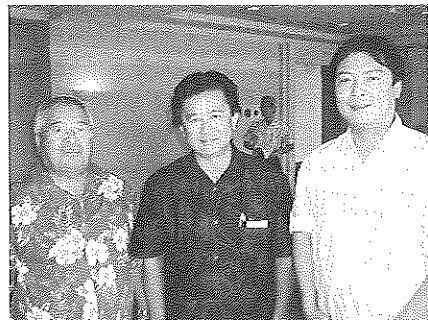
9月4日～19日 第3回定例会
一般質問に登壇しました。裏面の議会報告をご覧ください。



玉造順一の 活動報告



8月10日
本町活性化協議会市長申し入れ
県営住宅再建について、地元の皆さんとともに加藤市長に要望を行いました。



8月31日～9月2日
社民党自治体議員研修会(那覇市)
地方分権や基地問題などについて学んできました。写真は、米軍普天間基地返還に全力を尽くしている伊波洋一・宜野湾市長(中央)と。

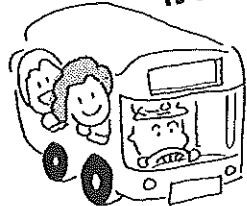


9月15日
浜田小学校運動会
母校の運動会に出席。コミュニティ・スクールとして地域と密着した学校づくりに頑張っています。



9月27日
水戸地区労農会議アジア・アフリカ支援米稲刈り(西大野)
収穫されたお米は、カンボジアの子ども達の給食用として送られます。

みんなで 行こう! 初詣といちご狩り 恒例バスツアーのお知らせ



とき: 1月26日(土) 7時30分出発
ところ: 午前 成田山新勝寺 / 午後 農園でいちご食べ放題
会費: 大人おひとり6,000円(交通費・昼食費込)
どなたでも参加OKです。ご家族、お友達連れでどうぞ!
定員(120名)になり次第メ切らせていただきます。
お申込み、お問い合わせは、お気軽に玉造事務所までお電話ください。

〈玉造順一事務所〉

水戸市本町1丁目10-11
電話 029-303-1255
FAX 029-303-1260

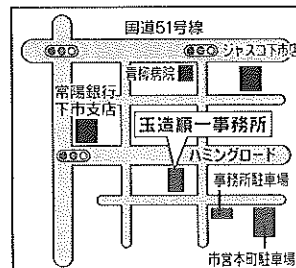
ホームページ上で近況報告を連載中です。
ぜひご覧になって下さい。

ホームページ <http://www.sdp.or.jp/tamatsukuri/>
E-mail jtama@sdp.or.jp

暮らしのなかで
困っていること
ありませんか?

- 法律
- 教育
- 金融
- 福祉
- 労働

お気軽に
ご相談下さい。



2007年9月市議会報告

1 水戸市の財政健全化について

〔玉造〕来年度から「地方財政健全化推進法」が施行されるが、本市の対応と受け止めはどうか？また、市民に対する財政の説明責任を果たすため、決算カード見直しや財政白書の作成を行うべきではないか？

〔財政部長〕本市の実質公債費比率は18年度20.5%で基準の18%を上回っているが、市債発行額を元金償還額の8割以内にするなどで改善していきたい。財政状況については、市民により分かりやすい情報開示に努力する。

2 本市事業・政策の見直しについて

〔玉造〕行財政改革の1つとして、事務事業評価が行われており、平成18年度は88件がその対象となったが、休止や廃止の結論に至ったものはわずか4件に過ぎない。40年前に計画されても着工見通しの立たない道路計画や区画整理事業などの時のアセス等を主とした政策評価をすべきであり、あるいは大きな予算を伴う建設事業や補助事業などの有効性評価を行うべきではないか？

〔総務部長〕より効果的・効率的な評価の手法について検討したい。

3 平和行政の推進について

〔玉造〕①戦災遺族や市民の平和活動の拠点として、駅南平和公園に「平和記念館」を建設すべきではないか？②戦後62年が経過し貴重な戦災資料が失われつつある中、改めて積極的な資料収集を行うべきではないか？③核兵器廃絶平和宣言都市として、平和市長会議に参加してはどうか？④小中学生を平和大使として広島へ派遣しているが、その報告会や戦災体験者・原爆被爆者の語り部の会を開催するなど、広く子どもたちや市民への啓発を推進してはどうか？

〔総務部長〕①②ホームページや市報で貴重な戦災資料の収集に努め、広く市民の目に触れる機会の充実を図りたい。③本市は日本非核宣言自治体協議会に加盟しており、引き続き核兵器廃絶と世界恒久平和への活動を行っていきたい。④指摘を踏まえ、充実を図りたい。

「地方財政健全化推進法」とは…

現行の財政再建制度が「夕張市問題」に機能しなかったことから、今年6月にできた法律。自治体の財政状況を定期的に公表する仕組みがない、一般会計の単年度の赤字だけを対象としているなどの批判があったため、新制度では、すべての自治体に前年度の決算における財政指標を公表するよう義務付けた。



水戸市議会改革がスタート —市民に信頼される議会へ—

■市議会改革特別委員会を設置

市議会改革や政治倫理条例制定を審議するための特別委員会が、8月の臨時議会で全会一致で設置されました。

玉造順一が所属する議会内会派「民主・社民フォーラム」では、インターネットでの議会中継や政治倫理の制度化などを議長に求めてきましたが、これらを具体的に進める立場から委員会設置に賛成しました。市民に開かれ、信頼される水戸市議会をめざし、今後の審議に臨んでいきます。

■政務調査費の外部審査を導入

他自治体で政務調査費を巡る不祥事が続き、世論の批判が高まっています。水戸市議会では全国に先駆け、弁護士や大学教授ら5人で構成される審査会を設置し、すべての支出について基準を設けるとともに、外部のチェックを実施することになりました。

現在、議員1人あたり月9万円の政務調査費が各会派に支給されていますが、透明性を高め、情報公開を行うことで市民への説明責任を果たしながら、議員としての政策能力を高め、広報活動を積極的に行ってまいります。

〈参考〉2006年度「民主・社民フォーラム」政調費決算
・ 収入：3,960,000円(所属議員4人)
・ 支出

科 目	金 額	使 途
研究研修費	541,565円	政策研修会負担金など
調査旅費	293,630円	石狩市・二セコ町視察など
資料作成費	606,558円	コピー代、事務機器リース料など
資料購入費	824,620円	新聞・書籍代、情報公開手数料など
広 報 費	1,272,280円	ニュース印刷費、郵送費など
公 聴 費	8,580円	学習会会場費
その他の経費	585,000円	事務所家賃
合 計	4,132,233円	不足分は所属議員で負担